

天然温泉を活用した足湯処（アンテナショップ）の運営

取り組み内容のポイント

中心市街地の空き店舗を改装して、地域の高齢者向けの「天然温泉足湯処」を開設し、天然温泉の足湯浴や健康相談、介護相談、貸ホール等を運営している。法人設立20周年を記念し、地域貢献事業として高齢者の拠り所を提供している。

埼玉県

社会福祉法人

熊谷福祉会

〒360-0853 埼玉県熊谷市玉井1145番地1

TEL：048-533-0003 FAX：048-533-0120

❖法人設立年

昭和63年7月6日

❖法人実施事業

①経営施設数合計：13施設

②経営施設・事業【種別毎の数】：

特別養護老人ホーム…1、老人保健施設…1、
ケアハウス…1、通所リハビリ…1、通所介護
…4、居宅事務所…2、訪問介護…1、保育所
…1、足湯処…1

❖法人の理念・経営方針

我々のケアサービス、それは自分や家族にして
欲しいものでありたい

- ・ご利用者の心の理解に務めます。
- ・ご利用者の心を開くように務めます。
- ・ご利用者の心を豊かにするように務めます。

❖取り組みの定款・事業計画上の位置づけ

- ①定款記載の有無：記載していない
- ②事業報告・計画への記載：記載している

❖取り組みを実施している施設の概要

【施設名】

「はなぶさ苑天然温泉足湯処仲町」

【施設種別及び利用定員】

第1種、第2種社会福祉事業以外
利用定員：50名程度／1日

❖活動内容

- ◇活動開始年：平成19年7月19日
- ◇活動の対象者：地域の高齢者
- ◇活動の頻度・時間：月間26日程度 1日7時間

◆活動実施の背景、実施にいたった理由

社会福祉法人熊谷福祉会は、平成元年に「特別養護老人ホームはなぶさ苑」を開設以来、地域の方々から愛着を込めて「はなぶさ苑」と呼ばれている。以後、地域で初めての民営の特養は絶大な支持を頂き、その後順次デイサービスや訪問介護・配食サービス等を開始した。

平成11年「介護老人保健施設はなぶさ」を開設、平成16年には施設の敷地内から市内初の温泉掘削に成功して良質な源泉に恵まれ、翌17年5月には県北最大規模の「はなぶさ温泉通所リハビリセンター」を開設。以降「はなぶさ温泉デイサービスセンター」と併せ『温泉とりハビリのはなぶさ苑』が市内外に広く浸透した。現在は、ケアハウスや老健施設と併せ一日に500名近くのお客様に掛流し天然温泉にご入浴頂いている。

平成19年7月、法人設立20周年を迎えるにあたり、ご愛顧下さり育てて頂いた地域への恩返しとして、市内中心街の一角に「はなぶさ苑天然温泉足湯処仲町」を開設した。

◆実施内容

施設は中心街の空店舗を購入して改修し、内装を檜の板張りとした1階には天然温泉足湯処、将棋や囲碁が出来る畳敷き談話コーナー、健康測定器具、相談カウンターを設置、2階は約35畳の貸ホールとし、隣地に駐車場も4台分を設置した。営業時間は午前10時から午後5時、定休日は毎週水曜。スタッフにはベテランの女性職員2名を配置、内1名が3年目にケアマネ資格を取得し、様々な相談に対応している。利用料金は市内の高齢者は全て無料とし、2階の貸ホールは午前又は午後の時間帯で各々300円としている。

◆活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

利用客数は初年度約4,200名（80名／週）から順調に増加し、2年目約8,200名（160名／週）、3年目約9,800名（190名／週）、4年目約10,500名（200名／週）となり、直近では週間利用客も250名前後に達し、年間総利用客数は12,000名前

後が見込まれている。

主な客層は、60～80歳代の女性が8割以上を占め、残りを40～50歳代の女性客と男性のお客様がそれぞれ1割程度を占めている。利用客の平均滞在時間は1時間程度で、約30分間の足湯浴の他、①地域の話、②お客様同士の趣味や余暇の話、③健康相談、④家族の話、⑤日常生活の話、⑥介護に関する相談などが行われており、大半が温泉利用と相談相手や話し相手を求めて来店されている。2階の貸しフロアは40～70歳代の各種サークルや複数のダンスサークルがご利用され、練習の前後に足湯を利用頂いている。

◆今後の展開

利用客の増加に連れて相談件数も増加傾向となり、特にスタッフがケアマネ資格を取得すると、様々な相談にも専門的に対応出来るようになった。昨今では介護に関する相談も毎週記録され、じっくりと相談できる環境と相乗し、毎月1～3件程度の利用契約に繋がっている。

経営戦術の上では中心街のアンテナショップ&

温泉トリハビリのサテライトショップであるが、現場ケアマネの心構え「真摯に耳を傾ける。売込まず機は逸せず。中立を保ち臆せず。即日処理を旨とする。」を机上に明記して、常にお客様本位の地域の高齢者総合相談窓口を実践し、地域と共に歩む社会福祉法人の地域貢献の一環として、今後も足湯処を積極的に展開して参りたいと考えている。

◆主な経費や財源及び人員等

※年間あたり

主な経費	経費概算額	主な財源	財源概算額
車両費	200,000円	法人からの負担金	1,200,000円
水光熱費	500,000円		
消耗品費	200,000円		
駐車場代	300,000円		
<合計>	1,200,000円	<合計>	1,200,000円

・取り組みに係わった職員数 常勤2名/支援執務0.5名
(職種等：介護職員(ケアマネ資格者1、パート1、他1名))

※法人全体の事業規模

(平成22年度決算の事業活動収入) 約2,300,000千円



地域のお年寄りの語らい



健康相談や介護相談



2Fホールはいつも盛況



交差点角の落ち着いた外観